

都市再生整備計画 フォローアップ報告書

岡崎駅東地区

令和3年3月

愛知県岡崎市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	自由通路の歩行者数	人/12h	12,294	13,500	12,201	確定 ● 見込み	△	あり なし ●					駅東口駐輪場の有料化による駅東口利用者の減少が要因として考えられる。しかし、地区内居住人口や駅乗客数が増加していることから、駅周辺のにぎわいは創出されていると推察する。
指標2	地域活動団体数	団体	1	6	4	確定 ● 見込み ●	△	あり なし ●	4	R2.4	△	町内会がすでにほかの公園を維持管理していることによる人員不足が原因で新たな地域活動団体は結成されなかった。 ■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	町内会が他の公園の維持管理を行う中、残り2公園の愛護会設立にあたっては人員が不足していたことが要因として考えられる。
指標3	地区内居住人口	人	1,676	1,840	2,019	確定 ● 見込み ●	○	あり なし	2,056	R2.4	○		土地区画整理事業による都市基盤整備を行ったことで住宅供給が進んだこと、本事業による都市施設の整備が地区の魅力向上に寄与したことが要因として考えられる。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	岡崎駅の1日あたり平均乗客数	人/日	21,643		23,716	確定 ● 見込み ●			24,137	R2.4			地区内の定住人口の増加に伴い、駅の乗客数は確実に増加傾向にある。
その他の数値指標2	地区内のイベント実施回数	回/年	2		12	確定 ● 見込み ●			10	R2.4.1		新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため、3月下旬に予定していた二つのイベントを中止したため評価値より減少した。 ■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	1号公園の開設を機に、地区内のイベントは増加傾向にある。今後も1号公園を中心にイベント活動を積極的に行っていく予定。
その他の数値指標2	地区内の公園をイベント等で利用した地域化団体の数	団体	1		4	確定 ● 見込み ●			4	R2.4.1			整備された公園をイベント等で利用する地域団体は確実に増加傾向にあり、地域交流の場として根付きつつあることが見受けられる。
その他の数値指標2						確定 ● 見込み ●							

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した	実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項	
・成果を持続させるために 行う方策	良好な都市基盤の維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ・土地区画整理事業を進めた。 ・公園事業及び地域生活基盤施設(ペDESTリアンデッキ)整備を実施し都市基盤整備を進めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・土地区画整理事業や公園事業等により都市基盤整備が進み、都市環境の改善が進んだ。 ・公園やペDESTリアンデッキの整備により、交流機能、歩行者支援機能の向上・強化が進んだ。 ・都市基盤が整備されたことで、駅東地区内の人口増加につながった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・整備された公共施設のポテンシャルを生かすため、維持管理活動等への地域住民の積極的な参画を推進する必要がある。 ・地元住民が主体となった継続的な維持管理活動を引き続き促進するため、エリアマネジメント活動を推進する体制の構築が必要である。
	持続可能なにぎわいの創出や地域コミュニティの維持向上	<ul style="list-style-type: none"> ・交流空間として使用される都市公園を整備した。 ・整備した公園を活用してイベントを実施した ・地域生活基盤施設(ペDESTリアンデッキ)を整備した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・駅前に整備した公園は、年間を通して10回イベント利用された。 ・それ以外の公園は、地域住民の交流の場として活用されつつある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交流空間として利用できる公園やペDESTリアンデッキを整備したため、公園を使ったイベント等が積極的に行われているが、引き続きコミュニティの形成や・地域交流のコーディネート活動などエリアマネジメント活動を推進する体制の構築が必要である。
	改善策	活力と交流が生まれる市街地形成	<ul style="list-style-type: none"> ・公園事業及び地域生活基盤施設(ペDESTリアンデッキ)の整備を始めとした交流拠点を中心とする、都心機能の集積を進めた。 ・まちづくり講演を開催し、住民の要望が強いものを確認し、整備計画を進めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民のニーズを反映した交流拠点の整備が実施できた。 ・駅東地区内の人口が増えた。
・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策				

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項